

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技4							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	2年	3・4期	増田 哲男	○			
分野区分	教育課程			講義形式	単位		
専門分野	柔道整復実技			実技	1		
コマ数							
20							
科目概要							
上肢の骨折、上腕骨外顆骨折・上腕骨内側上顆骨折から手舟状骨骨折までの診察・鑑別診断・徒手整復・固定法・後療法を理論とともに説明し、実技指導を行う。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	臨床現場にて多くみられる上肢の骨折の中から上腕骨外顆骨折、上腕骨内側上顆骨折、橈骨近位端部骨折、肘頭骨折、モンテギア骨折、橈骨・尺骨両骨幹部骨折、コーレス骨折、スミス骨折、舟状骨骨折の診察・鑑別診断・徒手整復・固定法が出来るようになるための技術を身に付ける。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、量、時間的な指標(目標基準)						
<ol style="list-style-type: none"> 1.上腕骨外顆骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 2.上腕骨内側上顆骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 3.橈骨近位端部骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 4.肘頭骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 5.モンテギア骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 6.橈骨・尺骨両骨幹部骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 7.コーレス骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 8.スミス骨折の診察・整復・固定が出来るようになる。 9.舟状骨骨折の診察・整復・固定法が出来るようになる。 							
履修に必要な予備知識や技能							
上肢の身体の構造を把握した上で、損傷の診察・鑑別診断・徒手整復・固定法・後療法・治療へと導くための予備知識ならびに予備技能を教科書にて予習しておくことが必要。							
教科書・参考書							
教科書:『柔道整復学・実技編』改訂第2版、『柔道整復学・理論編第6版』、『基本包帯法』、各(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
使用教科書『柔道整復学・実技編』、包帯固定セット必携。実技における挨拶・服装・態度・準備・後片付けはしっかりと行うこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				100			100
<p>全身状態の観察が適切であるか。</p> <p>患肢と損傷部位の状態把握が適切であるか。</p> <p>患者への説明、助手への指示が適切であるか。</p> <p>施術者の整復・固定の準備が適切であるか。</p> <p>整復・固定の手順が適切であるか。</p> <p>整復後の確認が適切であるか。</p>							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上腕骨外顆骨折(上腕骨外顆骨折の理論確認) (上腕骨外顆骨折の整復・固定材料作成)			柔道整復実技 P122～127	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第2回	上腕骨外顆骨折(上腕骨外顆骨折の固定)			柔道整復実技 P122～127	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第3回	上腕骨内側上顆骨折(上腕骨内側上顆骨折の理論確認) (上腕骨内側上顆骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P128～132	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第4回	上腕骨内側上顆骨折(上腕骨内側上顆骨折の固定)			柔道整復実技 P128～132	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第5回	橈骨近位端部骨折(橈骨近位端部骨折の理論確認) (橈骨近位端部骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P133～136	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第6回	橈骨近位端部骨折(橈骨近位端部骨折の固定)			柔道整復実技 P133～136	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第7回	肘頭骨折(肘頭骨折の理論確認) (肘頭骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P137～141	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第8回	肘頭骨折(肘頭骨折の固定)			柔道整復実技 P137～141	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第9回	モンテギア骨折(モンテギア骨折の理論確認) (モンテギア骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P142～146	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第10回	モンテギア骨折(モンテギア骨折の固定)			柔道整復実技 P142～146	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第11回	橈骨・尺骨両骨幹部骨折(橈骨・尺骨両骨幹部骨折の理論確認) (橈骨・尺骨両骨幹部骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P147～151	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第12回	橈骨・尺骨両骨幹部骨折(橈骨・尺骨両骨幹部骨折の固定)			柔道整復実技 P147～151	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第13回	コーレス骨折(コーレス骨折の理論確認) (コーレス骨折の固定材の作成)			柔道整復実技 P152～163	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第14回	コーレス骨折(コーレス骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P152～163	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第15回	コーレス骨折(コーレス骨折の整復・固定)			柔道整復実技 P164～168	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第16回	スミス骨折(スミス骨折の理論確認・整復・固定)			柔道整復実技 P164～168	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第17回	舟状骨骨折(舟状骨骨折の理論確認・整復・固定)			柔道整復実技 P169～170	白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第18回	実技試験				白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第19回	実技試験				白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
第20回	解説、復習				白衣・包帯セット・教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として整形外科および接骨院に勤務。後に接骨院を開業し施術した経験から、柔道整復実技の骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷について実技指導をします。							
メールアドレス							
masuda-1@nihonisen.ac.jp							